

歩 -AYUMI-

一歩一歩進む 少しずつ目標に近づく

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
国公立大学	一般入試			センター試験			センター試験	2次出願	2次試験	前期 合格発表 中期(公立) 合格発表 後期 合格発表
	推薦入試				出願	試験	合格発表	センター試験を課す大学もある ※合格発表はセンター試験後		
	AO入試	出願	※8~2月の間で実施時期は各大学により異なる			試験	合格発表			
私立大学	一般入試						出願	試験	合格発表	
	センター試験 利用入試			センター試験			センター試験	出願	合格発表 個別試験 合格発表	
	推薦入試			出願	試験	合格発表				
	AO入試	出願	※8~2月の間で実施時期は各大学により異なる			試験	合格発表	※3月まで実施する大学もある		

※出典 マイナビ進学

※あくまで一般的なスケジュールです。大学・学部学科によって日程が異なるため、詳細は各大学が発表する資料をご確認ください。

現3年生の大学入試スケジュール

現2年生からは大幅な変更が予想されます

今回は現3年生の大学入試のスケジュールを確認します。表を見ると、AO入試や推薦入試は2学期に出願や試験が行われることがわかります。また一番遅いのは国公立大学の後期入試で、3月20日頃の合格発表となります。

また、現2年生からは、「大学入試共通テスト」いわゆる「新テスト」が導入され、大きな日程変更が予想されます。各大学の情報を積極的に収集していく必要があります。

1年生へ

考査の対策をしっかりしよう
高校入学後初の考査が迫っています。ここで希望通りの結果が得られれば、この後の高校生活の波にも乗れます。対策をしっかりして受験しましょう。

2年生へ

緩みのない生活を
高校生活の様子も分かって、まだまだ1学期も始まったばかりと緩んでいませんか。後悔先に立たず。範囲の狭いこの中間考査で高得点を獲得しておきましょう。

3年生へ

1学期が最も大切
就職試験でも進学のAO・推薦入試でも、1学期の成績が3年生の成績として調査書に記載されます。今が勝負であることを忘れず考査対策をしてください。

新就職支援員着任



5月7日から新しい就職支援員の小林大介さんが勤務しております。小林さんは以前、民間企業に勤務していましたが、今回初めて就職支援員として仕事をすることになりました。

小林さんは主に県内企業就職の支援をすることになっており、県内企業の情報収集や生徒の皆さんへの情報提供、就職試験受験のサポート、さらに2年生が実施するインターシップのために企業と学校間の連絡調整などを行うことになっております。

小林さんの支援を受けながら、今年度も就職率100%の達成を目指します。

専門学校への進学で考慮することは？

慎重に学校を選ぶことが大切

高校に入って進路のことを考える時、いわゆる「専門学校」を選ぶ人が多いです。そこで、「専門学校」とはどんな学校であり、「専門学校」に進学をする場合はどんなことに気をつけないといけないのかを確認しておきます。

「専門学校」と呼ばれる学校は、学校教育法の分類では「専修学校」という大きなくりに入ります。専修学校は実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関で、入学資格の違いにより、専門学校（専門課程）、高等専修学校（高等課程）、一般課程の3つの学校（課程）があります。専門学校は高等学校卒業生か3年制の高等専修学校卒業生という資格が必要ですが、一般課程に入るには入学資格は特に必要はありません。

また、専修学校には認可校と無認可校という区別があります。認可校とは一定の基準を満たしていると公的機関が認可している学校で、認可校には日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローンを利用でき、通学期間も利用できるメリットがあります。専修学校に入るならば、認可校に入る方が利点が多いということになります。

では、実際の学校選びはどのようにすると良いのでしょうか。

専修学校進学に限らず、進学する場合はしっかりと学校の内容を調べることが必要ですが、専修学校の場合は必ず自分の目で学校を見る必要があります。パンフレットやホームページにも情報はありますが、その情報はあくまでも一面であり、それだけで判断するのは不十分です。多くの専修学校は何回もオープンキャンパスを実施します。その機会を捉えて必ず自分でその学校に行き、自分に合っているかどうかを確認してください。設備や学生の様子にも目を配り、しっかりと勉強できる環境か否かをチェックしてください。



オープンキャンパス参加の際には個人情報の管理には十分に気をつけてください。専修学校の中にはたくさんの学生に入学して欲しいため、受験料の割引などの理由で名前や住所などの個人情報を収集する場合があります。個人情報を安易に提供してしまうと、その後、頻繁に電話がかかってくる、メールやLINEメッセージが送られたりと、迷惑行為につながることもあります。

また、専修学校は1校だけでなく、自分の勉強したい分野の学校を複数比較することも重要です。比較することによってそれぞれの学校の違いがハッキリしますので、学校選びの重要な情報となります。

専修学校は、一部を除き入学のハードルは低いのですが、選び方を間違えると高額授業料を払っただけに終わってしまう可能性もあります。多くの選択肢のある専修学校だからこそ、慎重な選択をする必要があるということです。

ジャムの法則

ジャムの法則とはシーナ・アイエンガー（コロンビア大学教授）が実験によって示した法則で、選択肢が多いと少ないよりも判断が難しくなるというものです。6種類のジャムを並べたテーブルと24種類のジャムを並べたテーブルの2つを用意したところ、どちらのテーブルでも試食をした人の人数は変わりませんでした。しかし、最終的にジャムを購入した人の割合を見ると、6種類のテーブルの場合は30%、24種類のテーブルでは3%と非常に大きな差が生まれました。卒業後の進路選択もたくさんの選択肢があり、その中から何を選んだらいいかで悩んでいる人もいます。その際は、周囲の人と話し合いをして条件を絞るのも決断のための方策の一つです。将来はどこでどんな仕事をしていくのか。進学するのであれば、金銭面を中心にどこで何年間学生生活をするのかなど、諸条件を話し合っていくことで選択肢が狭まり決断しやすくなります。「なんでもいいから好きな進路を選んで。」というのは理想的にみえますが、実はとても大変なことかもしれません。

